

医学部の理念と使命

1. 理念(建学の精神)

「社会の福祉への奉仕」「人間への深い愛」「人間への幅の広い科学的理解」

2. 医学部の使命

建学の精神に基づき、以下の能力を涵養し、プロフェッショナルな医師を社会に送り出すことを使命とする

社会の福祉への奉仕

- ・医学を通して社会の保健・衛生および福祉の向上に貢献できる
- ・兵庫県の多様な地域性を理解し、特性に応じた適切な医療を提供できる
- ・国際保健に関心を持ち、国際的視野を持って活動できる

人間への深い愛

- ・人の痛みや苦しみ、喜びに共感できる豊かな人間性
- ・医療に携わる全ての人々と信頼関係を築ける豊かなコミュニケーション能力
- ・多様性を尊重し、生命の尊厳と医療倫理の原則に基づき判断・行動する力

人間への幅の広い科学的理解

- ・様々な医療の専門領域に進むための知識と技能を身に付け、良質で安全な医療を実践する能力
- ・総合的・科学的に課題を捉え、最新の情報・科学技術を活用し、医療・医学研究を最適化する能力
- ・生涯にわたって自律的に学び続け、後輩を指導するとともに、自らも共に学ぶ姿勢

上記に掲げたとおり本学では人間への深い愛情を持ち、かつ科学的に観察・理解・対応して、社会の福祉に奉仕できる医師こそ正しく良医であると考え。このような良医を養成したいというのが本学の目的であり、学則の第1条にも「本学は、建学の精神に則り、教育基本法および学校教育法に基づき、医学の教育及び研究を行い、有能有為の医師を育成することを目的とする。」と明記している。

建学の精神を具現する良医に育つ為には、生物学・化学・物理学などの基礎的な自然科学に立脚した医学、即ち、解剖学・生理学・病理学・薬理学などの基礎医学や法医学・公衆衛生学、行動学、心理学、人類学、環境科学などの幅広い社会医学・人間科学を修得したうえで、現代の臨床医学全般を修得することが条件となる。更に、臓器移植・再生医療・遺伝子治療などの先端医

学も身につけ、あくまでも冷徹な観察力と判断力を持ち、一方では幅の広い一般教養と倫理性を有し人間的にも魅力的であり、信頼され、単に病気を治すのではなく人間を治すことのできる、しかも奉仕の精神を持ちあわせる医師であって欲しい。時に相容れないこの二つの要素、即ち、自然科学に裏打ちされた冷徹なリアリズムと人間性が根幹を成す人徳を一個人の中に具備せざるを得ない困難さを乗り越えてこそ真の良医と成り得る。

これは医師の理想像であるが、この理想像の中から少なくとも「人間味に溢れ、患者のことを第一義的に考え、基本的な医学知識・医療技術を確実に身につけ、医療面や精神面において信頼される医師」としてスタートを切らせることが重要と考える。最後に本学の特徴は建学の精神で「社会の福祉への奉仕」を最初に掲げている点である。学生諸君は医学・医療と社会との関わりを常に意識して学んでもらいたい。